

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区南砂6-8-3
施設名	江東区南砂さくら保育園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

運動

〈テーマの設定理由〉

毎年、年長児になると運動会でリレーを楽しむ子どもたちの様子があり、運動会に向けて走り始めた子どもたちが「はやくはしりたい!」「かっこよくはしりたい!」という子どもの声が聴かれた。その声をきっかけに、走る事の楽しさ、挑戦する気持ちや真似をしてみたいと他の年齢へ広がっていった様子があり、本プロジェクトを計画した。

2 活動スケジュール

- ・テーマ設定
- ・戸外活動で走ったり、室内でも体を動かすことで、走ることへの興味を深める
- ・速く走る子の走り方に興味を持ち始め、体の動かし方に興味を持ち調べ始める
- ・陸上選手に依頼し、子どもの前で走ってもらったり、どうしたら?の疑問に応えられる時間をつくる
- ・いろいろな方法を取り入れながら、楽しみながら体力づくりや体の動かし方を知る
- ・真似してみたい、やってみたいなどの挑戦する気持ちを大切に、各年齢で取り組める遊具などを準備する
- ・活動する中で、挑戦する意欲や粘り強さ、相手への思いやりなど心と体への成長のプロセスも観察していく

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

- ・競技に取り組むためのラダーやソフトバトン、メーターなどの器具
- ・日常の中で体幹や体のバランスを鍛え、楽しむための遊具
- ・実際に活動している時の様子を撮影できる機材など

#### 4 探究活動の実践

##### 〈活動の内容〉

- ・戸外活動で、かけっこや鬼ごっこなど体を動かすことを楽しむ
- ・陸上選手をコーチとしてお招きし、実際に走る姿や子どもの疑問に応えてもらえる機会をつくる
- ・走るだけではなく、跳ぶ、投げるなど様々な動きで体のバランス感覚を養う活動を取り入れる
- ・乳児は、幼児クラスの活動をみながら、真似てみたり、自分もやってみたいなどの姿もあり、遊びの中で年齢に合わせた活動を取り入れる
- ・コーチによる保護者向けの講演会を開き、体の使い方や家庭でどのような取り組みをするとよいかなどの話をしてもらおう機会をつくる
- ・体のしくみにも興味を持ち、絵カードや図鑑などをみて知る機会をつくる

##### 〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

- ・子どもの「はやくなりたい」というつぶやきから、この取り組みが始まり、「どうやったらはやくなるかな？」を子どもと一緒に考え、スポーツ観戦をしたり、友だちの走る姿をみたりしながら、興味を深めていった。
- ・陸上選手をコーチに招き、実際に走る姿や高く上に跳ぶ姿などをみて、「うわーはやい」「いっしょにはしりたい」「やってみる!」「もういっかいやりたい」など憧れる姿や自分もやってみたいという意欲に繋がった。
- ・やったことのない動きでも「やってみたい」と楽しみながら取り組み、コーチがいない時も保育者と教えてもらった活動を楽しみながら、「できるようにになりたい」と取り組む姿が見られる



#### 5 振り返り

##### 〈振り返りによって得た先生の気づき〉

子どものつぶやきから、「運動」をテーマに取り入れたことで、走ることを楽しみながら体の使い方を知ったり、友だちの様子を観察してみたり、様々な方向への意欲につながっている姿が子どものつぶやきから感じられた。目標に向かって何度も取り組むことや、やってみたいと挑戦する様子は、楽しさや達成感を味わったりする姿として感じられた。

子どもの気持ちに寄り添い、子ども一人一人の「できた!」という経験を積み重ねることを大切にしていき、体と心の成長を支援していくことに繋がることがわかった。

これからも活動内容を変化させながら継続していきたい取り組みとなった。